

があるのではと考えられる。<sup>32)</sup>

いずれにしても賃金の問題については、決して楽観は許されない状態と言える。外資企業では近年ストライキ等の労働争議が多く発生しているが、そのほとんどは賃上げを要求してのものだ。外資企業への期待が高いために、福利厚生も含めた、外資企業で働く中国人に適した賃金制度等の確立も望まれるところだ。

### ＜謝 辞＞

この論文の作成にあたり、指導教官である川久保美智子先生とコンピューター操作に関して助言してくれた友人の後藤貴弘君に感謝します。

また未筆ながら、1995年から翌年にかけて交換留学生として香港中文大学で学ぶ機会を与えていただいた関西学院大学社会学部及び国際交流課の関係者の方々に厚くお礼申し上げます。この論文の構想は中国への返還を控えた香港で生まれました。

### ＜参考文献＞

- 朝日新聞朝刊、1994年6月16日。  
朝日新聞朝刊、1997年12月17日。  
稲垣 清『時間でわかる 図解 中国のしくみ』中経出版、1997年。  
井上 隆一郎『中国の企業と産業—21世紀への展望と戦略』日本経済新聞社、1996年。  
今井 理之『対中投資：投資環境と合併企業ケーススタディ』日本貿易振興会、1990年。  
大野 静三『“難関”に立つ中国経済—歩いてみた開放政策』日本放送出版協会、1988年。  
落合 信彦『鄧小平の遺言—野望果てることなし』小学館、1994年。  
梶田 幸雄・馬 成三『対中投資のすべてがわかる事典』日本実業出版社、1996年。  
川久保 美智子『日中社員の意識比較』多賀出版、1997年。  
川久保 美智子『日米社員の意識比較』講談社出版サービスセンター、1991年。  
広州出版社編『鄧小平は語る』(孔 健・山崎 金造 監修、チャイニーズドラゴン新聞社訳) 双葉社、1996年。  
佐々木 信彰編『原典で読む現代中国経済』東方書店、1994年。  
社団法人 企業研究会『中国ビジネス実務ガイド』1993

- 年。  
ジェトロ『中国経済』1994年3月号。  
ジェトロ『中国経済』1994年4月号。  
ジェトロ『中国経済』1994年9月号。  
ジェトロ『中国経済』1994年10月号。  
ジェトロ『中国経済』1995年7月号。  
ジェトロ『中国経済』1995年8月号。  
ジェトロ『中国経済』1997年2月号。  
人民出版社『鄧小平文選—第一巻』1989年。  
人民出版社『鄧小平文選—第三巻』1993年。  
李田 武『中国ビジネスABC』蒼蒼社、1995年。  
田畑 光永『鄧小平の遺産』岩波新書、1995年。  
中国経済情報センター『経済の眼晴』1996年10月号。  
中国経済情報センター『日系企業の中国人労務管理』1993年。  
東京三菱銀行『調査月報』1997年10月号。  
中江 剛毅『中国ビジネス29社の成功』ダイヤモンド社、1995年。  
ニッセイ基礎研究所『97年度主要産業の展望』1997年2月号。  
日本経済新聞朝刊、1997年11月25日。  
日本経済新聞朝刊、1997年12月17日。  
日本国際政治学会編『改革・開放以後の中国』1996年第112号。  
三菱総合研究所編『中国最高指導者 WHO'S WHO』1996年版。  
三菱総合研究所編『中国情報源』1996年版。  
渡辺 利夫『社会主義市場経済の中国』講談社現代新書、1994年。  
渡辺 真純『中国でのビジネス—北京駐在員の夢と記録』サイマル出版、1992年。

### ＜外国人による著作＞

- Ezra F. Vogel『中国の実験』中島 嶺監訳、日本経済出版社、1991年。  
Patrick Sabatier『最後の龍—鄧小平伝』花山 克己訳、時事通信社、1992年。  
何 頻『鄧小平以後の中国：上下巻』現代中国事情研究会訳、三交社、1994年。  
江 之楓『鄧小平最後の闘争』戸張 東夫訳、徳間書店、1994年。  
劉 永鶴『日本企業の中国戦略』税務経理協会、1997年。  
卓 子旋『100のポイント—中国ビジネス成功の秘訣』日本経済出版社、1994年。

32) 本論文第3章第5節⑦を参照。